

第5学年 道徳科学習指導案

場 所 5年1組 18名

指導者 菊地 まどか

1 主題名 「理解し合う心」 B〔友情、信頼〕

教材名 心のレシーブ（東京書籍「道徳5年 新しいどうとく」P.104-107）

2 主題について

（1）価値について

本単元における内容項目B「主として人との関わりに関すること」の「友情、信頼」は「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと」をねらいとしている。この内容項目は、中学校では、「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと」に発展していく。

望ましい人間関係は、互いに協力し合うことから始まるものであり、信頼し、助け合う中から真の友情が生まれていく。相手のことを思い、理解しようとすることは、よりよい友達関係を築いていくうえではなくてはならないことであることに気付かせるようにしたい。

この時期の児童は、これまで以上に友達を意識し、仲のよい友達との信頼関係を深めていこうとする。また、流行などにも敏感になり、趣味や嗜好を同じくする閉鎖的な仲間集団をつくる傾向も見られる。そのため、友達関係での悩みをもつことが、今まで以上に増えるようになる。そこで、友達同士の相互の信頼の下に、協力して学び合う活動を通して互いに磨き合い、高め合うような、真の友情を育てるとともに、互いの人格を尊重し合う人間関係を築いていくことのできる授業を展開させたいと考え、本教材を設定した。

（2）児童について

高学年の児童にとって、友達関係は何よりも重要な関心ごとである。自律的になる反面、偏見や独断等により、仲たがいをしたり、思い違いをしたりすることも少なくない。

本学級の児童は、全体的に、必要があれば協力する雰囲気をもっているが、「この子はこういう子だ」などと、決めつけた見方や思い込みで友達を見ている面があり、班の話し合いを見ていると、相手を理解し、信頼し合った上での協力や高め合い、磨き合いの関係を築くまでには至っていない。特に男子は女子に遠慮をしているような雰囲気があり、6月に行った宿泊学習の班ごとの出し物では自分たちの考えや意見について女子の理解を得るために苦労していた。

児童は道徳の学習を通して、相手の気持ちを考える経験を重ねてきたことで、徐々に相手意識も育ってきている。しかし、自分の考えや感覚を当たり前のこととして友達と接してしまい、悪気なく相手を傷つけ、互いの思い違いから気まずい雰囲気に発展する場面もたびたび見られる。以前、同じ内容項目である、「友の命」を学習した際には、誰に何と言われようとも互いに思い合い、自分ができる精一杯のことをしようとする登場人物の姿から、信じ合う心について考えた。

今回の授業では、教材の中の登場人物の言動や変化に着目しながら、同性異性・親しい親しくないにかかわらず、相手のよさに目を向け、互いを高め合い、成長していくことに気付き、男女協力しようとする心情を育てていきたい。

（3）指導にあたって

「気づく」段階では、問題意識をもたせるために、男女お互いの思いをアンケート結果をもとに、自分たちの学級には課題があることを意識させる。

「深める・つかむ」段階では、男子は女子を、女子は男子を「こういう人」だと決めつけた見方で男女が分かり合えていないチームが、練習試合を通してお互いのよさに気付き、認め合うことで分かり合えるチームへ変容する心情を追いながらねらいとする価値へと迫りたい。その際、男女の気持ちを板書で可視化しながら考えさせ、お互い相手に対し不満をもっていることを自分事として捉えさせる。さらに、練習試合を通して陽子が男子のどんなことに気付き、変化していったのかについてホワイトボードを用いて考えさせる。その時同じように男子も女子の言動から

何に気付き心情が変化したのか取り上げて全体交流しながら多面的・多角的に考えさせていく場としたい。

「見つめる」段階では、教材からつなげて、学級の課題である「男女が協力する時に大切なことは何か」また、そのことをどのような場で生かせるのかについて自分の生活を振り返りながら自分の考えを書くようにする。

「まとめる」段階では、自分自身を振り返りながら、教師の説話を聞き、学級一人一人によさがあり、そのよさを分かり合って生活していくことで、ますますパワーアップする学級になることを感じ取らせたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

友達と互いに理解し合い、よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる。

(2) 研究仮説の具現化に向けた手立て

①自我関与のさせ方の工夫

場面	ねらい	手立て
男子が「はいはい、わかりました。おまかせするよ。」と、やる気のない態度を出した場面	お互いが相手に対し不満な気持ちがあり、相手を決めつけた見方で分かり合おうとしていない気持ちに共感できるようにする。	板書による考えの可視化

②多面的多角的に考えさせる場のあり方

場	ねらい	手立て
陽子が練習試合中の良夫の姿にはっとした場	陽子の良夫に対する見方の変化に気付かせる。	班ごとの話し合い (ホワイトボード)
練習試合のあとにみんなで声をかけ合い、大会に向けて一つにまとまることができた場。	男女のそれぞれの変化(よさ)に気付かせる。	板書による考えの可視化

③自分を振り返られる工夫

発問	ねらい	手立て
男女が協力する時に、大切なことは何でしょう。また、みなさんの生活の中で今日の学習をどんなところで生かせると思いますか。	本時の課題について、学習を通して考えたことを書くことで、互いを理解し合うことのよさに気付かせる。	ワークシート

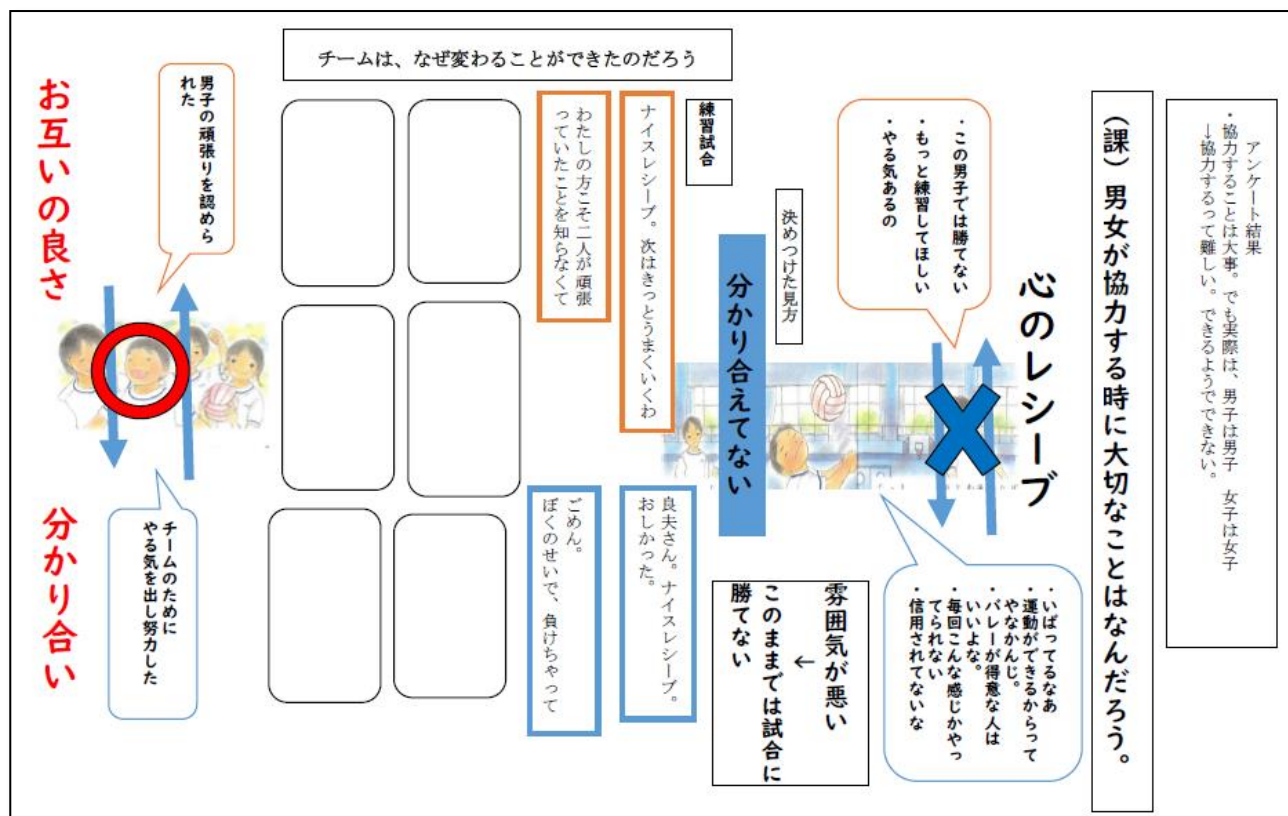
(3) 展開

		学習内容と主な発問	期待される児童の反応	指導上の留意点 (留意点・ 評価★)
導入	気づく 10分	1 「男女の協力」についてのアンケートから、学級の問題点を知り、課題を確認する。		・ アンケート結果から本時の学習に関心を持たせる。 ・ 教材を読む前に、簡単に登場人物の人物像を確認する。
		男女が協力する時に、大切なことは何だろう。		
		2 教材「心のレシーブ」を範読を聞く。		
		3 本時の話合いの方向性を確認する。		

		・チームはなぜ変わることができたのだろう。		
展開前段	深める つかむ 22分	4 登場人物の行動や気持ちをもとに、お互いのよさを認めることについて考える。 (1) お互いが相手に対して感じている不満な気持ちに共感する。 ○陽子たち女子と直希たち男子はお互いをどう思っているのだろう ・女子の思い ・男子の思い (2) 課題を解決する。 ○このチームが変われたのはどうしてだろう。 ○男女それぞれの良さは何だろう	[女子] ・この男子は下手だから勝てない。 ・ちゃんと練習してほしい。 ・やる気あるの。 ・できれば一緒にやりたくない。 [男子] ・運動が得意だからっていばるなよ。 ・僕たちだって好きで選んだわけじゃない。 ・練習いやだなあ。 ・勝ちたい気持ちはある。 [男子] ・試合に勝ちたい。 ・チームの足を引っ張りたくない。 [女子] ・運動が苦手な良夫も頑張っていた。 ・男子のやる気が分かった。 ・みんな目標は同じでチームのために力をだそうと努力していたことを知らずに責めていた。 [男子] ・自分たちの頑張りを分かってくれた。 [女子] ・男子の頑張りが分かった。 ・男子を応援した。 ・男子にあやまった。 [男子] ・やる気を出した。 ・励まし合って練習を続けた。	・自分の「勝ちたい」という強い気持ちになかなかついてこない直希と良夫に苛立っている陽子の気持ちや、男子を見下すような女子に嫌な気持ちになっている男子の気持ちに共感させ、お互いが不信感を抱いていることを明らかにする。 [手立て1] ・ホワイトボードを使い班ごとに考えさせる。 ・全体交流で陽子の良夫の見方の変化に気付かせる。また、男子も勝ちたい気持ちがあり頑張っていることを理解させる。 [手立て2] ・それぞれが、それぞれのよさやがんばりを理解し合い、互いを尊重できたことで、4人の関係が深まったことに気付かせる。
展開後段	みつめる 10分	5 課題について自分の考えをまとめ、お互いの意見を交流する。 ○男女が協力する時に、大切なことは何でしょう。また、みなさんの生活の中で今日の学習をどんなところで生かせると思いますか。	・男子だから女子だからと決めつけない。 ・相手の気持ちを考えずに責めたりしない。 ・相手のよいところを認める。 ・班活動でも協力していく。 ・自分の気持ちを伝えていく。	★男女お互いのよさを認め合い協力し合って生活していくために大切なことは何かを考え、実際の生活で生かそうとしていた。 (発表・ワークシート) [手立て3]

終末	まとめる3分	4 まとめる ・男女がお互い励まし合い笑顔で活動している写真を掲示し、どんなよさが伝わってくるか投げかけながら、示されている活動のよさを具体的に伝える。	・男子だから女子だからという決めつけた見方でなく、男女関係なく人にはよさがあり、お互いを分かり合う学級にしようという前向きな気持ちを高める。
----	--------	---	--

4 板書計画





友じょうを深める

23 心のしずく

男女が協力する時に、大切なことは何でしょう。今までの生活と関わらせて考えてみましょう。
今日の学習をどんな所で、生かせると思いますか。

月

日

組

番

名前

今までの男女の協力はよくでした。だから男女が協力する時に大切なことはよくです。

今日学習したことを、

■学習のふり返し *当てはまる😊に色をぬりましょう。

よく考えた。



別の考えに
気づいた。



自分を
ふり返った。



〈教材分析図〉

1 教材名 心のレシーブ（東京書籍）

2 ねらい 友達と互いに理解し合い、よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる

-24-

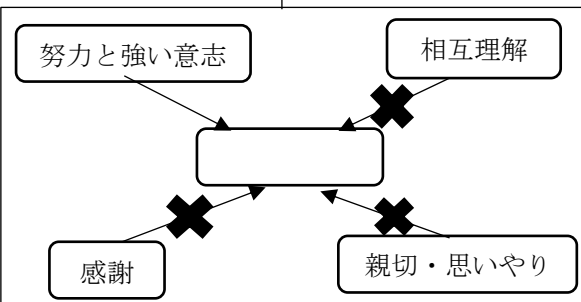
主な場面

直希が昼休みにメンバーが集まって、練習の打ち合わせをしている時「はいはい、わかりました。おまかせするよ」とやる気の態度をとった場面

心の動き

- ・(男) バレーが得意な人はいいいよな
- ・(男) この調子で毎回やられるのか
- ・(男) まあ、決めたことだからなあ
- ・(女) この二人の男子で心配。勝てないなあ

価値の関連



気付かせたいこと

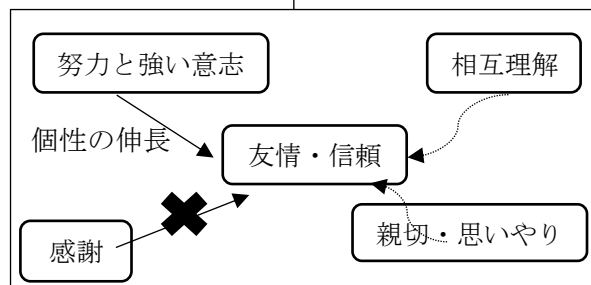
- ・男子を悩みの種と決めつけている女子
- ・頑張ろうと思っていたが、女子の態度に気持ちが沈んでしまった男子。

主な発問

男子と女子は分かり合っているのでしょうか

一週間がたち、1組から練習試合をやらないかと声がかかり練習試合を行った場面

- ・(男) スポーツの苦手な良夫は頑張ってる。
- ・(男) 男子だって勝ちたい気持ちはある。
- ・(女) 良夫もがんばっているんだ。
- ・(女) みんなで頑張ろう。

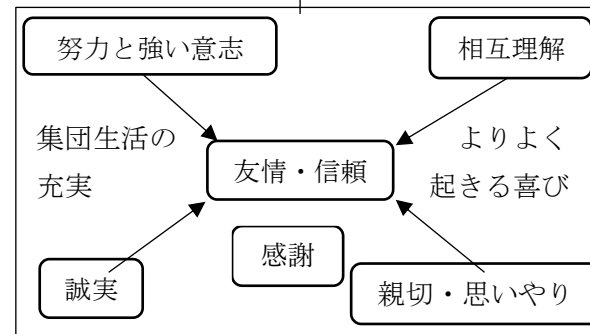


- ・陽子に良夫の良さ（チームのために頑張っている。）を知らせたい。
- ・男子にも女子と同じ勝ちたい気持ちはある。
- ・男子のことを理解しようと思いはじめた。

このチームが変われたのはどうしてだろう。

練習試合のあとにみんなで声をかけ合い、大会に向けて1つにまとまることができた場面。

- ・試合に勝ちたい気持ちはみんな同じだった。
- ・みんなのがんばりに気付くことができた。
- ・運動が苦手な良夫も頑張っていた。
- ・良夫の良さを分かってくれてよかった



- ・男女それぞれの思いを理解し、お互いの良さを分かり合えたことで、明るい気持ちで練習に励める

それぞれの良さはどんなことだろう。